

出張報告

報告日 令和6年11月20日

会 派 名	暮らしと笑顔
報告者氏名	池野里美
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	地方議員研究会主催、研修会 2 本受講
日 時	R6/11/18(月) 10:00 ~ R6/11/18(月) 16:30
場 所 (会場)	金沢文教会館（石川県金沢市）
調査項目等	『アフターコロナの議員目線』これからの観光戦略・驚きの人口増加策、2本の講義
概 要	11月18日(月) 10:00～講義Ⅰ 『アフターコロナの議員目線』これからの観光戦略 ※休み時間に、 参加議員の自治体の決算カード比較の話 14:00～講義Ⅱ 『アフターコロナの議員目線』驚きの人口増加策 講師：■■■■氏 
所 感 等	【これからの観光戦略】 ・観光立国と言えば、フランス。パリのリピーター率は90%以上。何十年もずっと世界一の外国人観光客だが、観光収入はスペイン、アメリカに次いで2位。そもそも、大原則として、①知っている、②行ったことがある、③行ったら良かった場所にしか人は行かない。まずは来てもらうことが大事だが、そのためには、『憧れるモノ』が必要。自然はどこにでもあるが、世界一の○○、アニメの聖地、ドラマの舞台など、ブランド戦略が必要不可欠。例えば、ドバイのように恵まれた環境でないなら、戦略に沿って、ターゲットを縛り、新しく作るという方法もある。 ・これからはインバウンド戦略が重要。急成長しているマーケットはアジア圏の人であり、日本は人気があるので今がチャンス。特に人口が2億人いるインドネシアの人々はイスラム教徒なので、ムスリム対策は必須。ハラル用文化マニュアルを整備し市内業者へ配布し、ハラル対策の店を増やし、ホテルも富裕層も取り込める5つ星ホテルの誘致をするべきとの話だった。ちょうど柏崎市では、駅前のホテルが閉業しこれからホテルを誘致するが、柏崎市にとってシンボルとなるような場とな

るようなモノが出来ることを期待したいところである。これからの観光は、柏崎と
言えば、コレと言えるようなモノ、他との差別化を図り憧れられるモノを、まず
は、行政や市民と共に考えていきたい。

【驚きの人口増加策】

・コロナをきっかけに、東京一極集中の動きが変わってきている。首都圏企業は、2
年連続の転出超過であるが、この流れも長くは続かないと予測されるので、今が首
都圏から企業を誘致するチャンス。地方拠点強化税制として、本社機能を東京 23 区
から地方に移転する場合や、地方で拡充する場合に、税制の優遇措置を受けること
ができる地方創生策もあると学んだので、うまく活用して行けるといいと思った。

・人口の自然減は防ぐことは難しいが、転出超過の社会減は、工夫すれば防げる。
若い人が転出するタイミングは、進学と、仕事と、結婚や離婚で家を購入する時。
なので、この時に流出を防ぐ施策を考えるべきで、ただ「来てください!」と言っ
ても知らない土地へ人は行こうと思わない。今いる人を転出させないか、戻りたい
と思えるような施策に力を入れることが必要。特に、奨学金を受けて大学へ行く学
生は今、2 人に 1 人と言われる時代。「奨学金返還支援」による若者の地方定着をや
るべき。奨学金返済支援を創設した場合、その費用の一部を特別交付税措置する国
の支援を活用し、多くの市町村で奨学金返還支援を行っているので、他市の様々な
事例を比較し、柏崎市にあった制度を考えていけるといいと思った。

人口を増やすことに成功している自治体もある。まずは、自治体の特性を分析し、
次にブランド戦略とプロモーション。職住（仕事と住まい）を制する者が人口獲得
に勝つという言葉が胸に響いた講義であった。人口減少対策をどうしていくべき
か、私も更に学びながら、市民や行政とまちづくりについて共に話しあう機会があ
るといいと感じた講義であった。